

第29回広島市立広島特別支援学校小学部・中学部卒業証書授与式
校 長 式 辞

小学部・中学部の卒業生の皆さん、本日の卒業、おめでとうございます。心からお祝いいたします。

また、保護者の皆様、お子様の御卒業、おめでとうございます。これまでの、本校に対する御協力や御支援に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

本日は、皆さんの卒業をお祝いして、広島市教育委員会学校教育部長 荒木靖昌様をはじめとして、大勢の御来賓の皆様にご臨席いただきました。御来賓の皆様には、高いところからではございますが厚くお礼を申し上げます。

小学部・中学部に入学して、今日の卒業の日まで、皆さんは先生や友達、家族や地域の方々から多くのことを学んで成長してきました。それは、「思い出」として、皆さんの心に刻まれているはずです。

小学部6年生の思い出。修学旅行では、楽しみにしていた新幹線に乗って、岡山県のおもちゃ王国に行きました。大好きなお父さんお母さんに、お土産を買いました。倉敷アイビースクエアのオルゴールミュージアムでは、オルゴールの美しい音色に心が癒されました。運動会では、応援団長を務め、選手宣誓をしてみんなのリーダー役でした。文化祭では、ジェットコースターやゴーカートが体験できるお店をしました。たくさんのお客様でした。発表会で行った「はりきりロックンももたろう」では、得意なことを発表して、みんなが一つになりました。犬との触れあい交流は、6年間続け、優しい心が育ちました。

中学部3年生の思い出。修学旅行。香川県新屋島水族館での、いるかの大ジャンプに感動しました。レオマワールドでは、様々な乗り物を体験しました。お父さん、お母さんへのお土産として作った、さぬきうどん。とても美味しかった。秋の運動会では、修学旅行での思い出を演技にしました。組体操で表現した「瀬戸大橋」は、見事に完成。進路学習では、ふれ愛プラザでの販売実習や作業所での空き缶のリサイクルなどを行い、働くことを体験しました。文化祭でのステージ発表では、はらっぱ太鼓で学年が一つになりました。卒業前の「感謝祭」では、お父さん、お母さんに感謝の気持ちを伝えました。

とても楽しく、うれしく、おもしろかった思い出がたくさんありました。しかし、つらい、嫌な思い出もあったことでしょう。楽しく、うれしく、おもしろかった思い出は、自分を励まし、生きる元気と自信を育ててくれます。つらい、嫌な思い出は、無ければ無いほうがよいのですが、そのつらさ、苦しさを受け止め直せば、かえって自分を強くし、心を広くしてくれます。いろいろな思い出は、皆さんの心の中で生き続け、これからの皆さんの人生に生きる知恵と勇気を与えてくれるはずです。

これから、中学部、高等部に行かれても、幾つも幾つもの思い出を積み上げて、夢と目標をもって、良い思い出作りに進んで取り組んでください。

この体育館で、本校の卒業証書授与式を行うのは、最後です。これまで、小学部・中学部の卒業生を28回も送り出してきたこの体育館です。思い出がいっぱいです。29回目に巣立っていく小学部卒業生11名、中学部卒業生31名の皆さんの、幸せと活躍を心からお祈りしまして式辞といたします。

平成24年3月15日

広島市立広島特別支援学校校長 中尾秀行